

# 平成30年5月10日

総務文教常任委員会会議録 審査内容

## ◇会議録

- 1 日 時 平成30年5月10日  
開会 10時10分 閉会 10時15分
- 2 場 所 幕別町役場3階会議室
- 3 出席者 委員長 小川純文 副委員長 谷口和弥  
委員 荒貴賀 内山美穂子 中橋友子 乾邦廣  
議長 芳滝仁
- 4 傍聴者 板垣良輔 高橋健雄 小田新紀 小島智恵 若山和幸  
岡本眞利子 野原恵子 藤谷謹至 田口廣之 千葉幹雄  
寺林俊幸 松村記者(勝毎) 鰐渕記者(道新) 小山繁樹
- 5 事務局 事務局長 細澤正典 課長 林隆則 係長 遠藤寛士
- 6 審査事件および審査結果 別紙のとおり
  - 1 付託された陳情の審査について  
陳情第2号 株式会社忠類振興公社経営方針に関する十分な説明を求める  
陳情書
  - 2 その他

総務文教常任委員会委員長 小川純文

## ◇内容

(開催 10:10)

○委員長(小川純文) ただいまより、総務文教常任委員会を開催いたします。

ただいま本会議で付託をされました陳情第2号、株式会社忠類振興公社経営方針に関する十分な説明を求める陳情書ということで、幕別町のまちづくりを考える有志の会長、小山繁樹さんから出されている陳情書の審査であります。

まず、この陳情書の審査をはじめると同時に、皆さんのほうからご意見をいただきたいというふうに思います。

中橋委員。

○委員(中橋友子) 表題にありますように、この陳情は忠類振興公社の経営方針に関して、内容をもっときちんと説明をしていただきたいと、一番最後の文面には、町議会において説明をしていただきたいということでもあります。

私たちは、町民から負託を受けて町の政策をチェックしたり、あるいは提言したりするということは、これは大切な任務であり、住民の皆さんと協力してやっていくというのは、そのとおりだと思います。

ただ、そういった経過を忠類振興公社に関わって、怠ってきたのかどうかということなども、文面の中から十分検討していかなければならないというふうに思います。

例えば、説明が十分でなかったと新聞紙上で初めて知ったということでもあります。経過をみますと、昨年11月20日に全員協議会を開催し説明を受けました。新聞に載って、私自身が確認しているのは、その2日後であります。従いまして、そののちに、また2月16日にですか、全員協議会を行っておりまして、若干ここの捉えと現実が一致しない点もあります。そういうことも十分この総務文教常任委員会で熟知しながら、皆さんと納得のいく方向を決めていきたいというふうに思いますので、十分な時間をいただきたい、このように思います。

○委員長(小川純文) 他にご意見はございませんか。

○委員(乾邦廣) ただいまの陳情第2号が付託されましたけれども、きょうの本会議は、審査するのが時間的に大変窮屈でありますので、この陳情書につきましては閉会中の継続審査で審査を求めたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○委員長(小川純文) 他にご意見はございませんか。

(なしの声あり)

○委員長(小川純文) 今の中橋委員、乾委員からご意見をいただきまして、まだ審査の内容に入るには、今までの経過をいろいろ、もう一度検証する時間も必要でありますし、きょうの本会議中の委員会ということで、十分な討議の時間も厳しいのではないかと思いますので、この陳情書につきましては、きょうは臨時会で1日でございますので、閉会中の継続審査という形を取らせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(よいの声あり)

○委員長(小川純文) それでは、閉会中の継続審査と、この陳情書については取り扱いをしたいと思います。

また、5月24日に所管事務調査等も含めまして、総務文教常任委員会が予定をされて

おりますので、またそのときにも、この陳情書について再度検討をしていきたいと思  
いますので、そのような運びで進めていきたいと思います。

そのような内容でよろしいでしょうか。

(よいの声あり)

○委員長（小川純文） 他にご意見はございませんか。

(なしの声あり)

○委員長（小川純文） ないようであれば、総務文教常任委員会を閉じさせていただき  
たいと思います。

(閉会 10:15)